



## 自然災害、感染症パンデミック、テロリズムに備え、健康を守る

大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室 室長補佐

谷村 忠幸 Tadayuki TANIMURA

平成21年 保険局医療課(診療報酬改定)  
平成22年 健康局疾病対策課臓器移植対策室(移植の推進)  
平成24年 世界保健機関(WHO)(世界結核戦略)  
平成26年 医政局総務課医療国際展開推進室  
平成28年 ロンドン衛生・熱帯医学大学校留学  
平成29年 現職

趣味 — アメフト観戦、料理

信条 — Man for others

### 健康危機管理・災害対策の業務

自然災害、感染症パンデミック、テロリズムなど、人々の健康を脅かす危機に十分備え、いざという時に対応することが私たちの部署の任務です。危機を早期に探知するため、平時より国内の関係機関、部局等から健康被害が懸念される事案の情報の収集体制を整え、それらの情報の関係部局間での共有を図っています。実際に健康被害が発生した場合には、適切な公衆衛生対応や、救護・搬送を速やかに関係省庁・部局が連携して行える体制を整え、訓練もしておく必要があります、そのための総合的な調整を行っています。

### 国際連携を強め、危機対応力を高める

米国の同時多発テロが発生し、世界は、新たな脅威にさらされていることを強く認識しました。それをきっかけに、米国・カナダ政府の呼びかけにより、各国が連携して、世界的な健康危機(感染症やテロ)の準備・対応を向上させることを目的として、世界健康安全保障イニシアティブを発足しました。G7、メキシコ及びECをメンバーとして、保健大臣等からなる会合を開催しており、私は、そのリエゾンをしています。このイニシアティブが中心となって、例えば、テロに備えた天然痘ワクチンの世界的備蓄を進めたり、早期に感染症やテロを察知するための探知システムを構築した実績があります。このような連携を進めるにあたっ

て、専門家会合から、閣僚級会合まで、様々なレベルの会合の準備・出席をしています。閣僚級会合や、幹部級会合で決定したイニシアティブの方針を実現すべく、ワーキンググループにて仕組みのあり方の議論や、共同訓練を行ったりしています。

頻繁に行われる電話会議や、年に数回の顔合わせの機会を通して築かれる各国メンバーとの信頼関係は、健康危機に連携して対応するために非常に重要であり、また、個人としてもそのような「仕事仲間」がもてることはとても貴重なことです。

### 思い出深いこと

臓器移植は、いのちのリレーとも言えるセンシティブな分野です。2010年臓器移植法が改正され、第一線の先生方と一緒に、関連制度や脳死移植判定マニュアル等を見直しなどに関わらせてもらいました。(まだ十分ではないものの。)法律・制度が変わり、心臓移植などを受けられる患者さんが増えました。医療現場と違って、毎日命を直接扱うわけではない医療政策の世界ですが、命を守る仕事をしていることを改めて認識させてもらった思い出深い仕事でした。

### あなたへのメッセージ

政策作りは、必要な情報を収集し、専門家の知恵を借り、同僚・上司、そして関係者と議論を尽くし、あるべき姿について合意を得るプロセスです。そうして形作られた政策が動き出すダイナミックさは、本当に面白く、充実した日々を過ごせています。難しい課題もたくさんありますが、だからこそ、やり甲斐のあるこの世界を、是非一度、覗いてみませんか。